

広島県立佐伯高等学校 学校運営協議会の会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和元年 3 月 17 日（金） 16：00～17：00	開催場所	佐伯高等学校会議室
出席委員	<p>人数：委員 10 人</p> <p>河野義刀（旧佐伯町助役，佐伯高校同窓会会長，友和の里理事長）</p> <p>岡田俊章（旧佐伯町教育長，佐伯高校同窓会常任理事）</p> <p>松浦伸二（廿日市市民会議佐伯支部支部長）</p> <p>酒井恵子（元 P T A 会長）</p> <p>小田大介（廿日市市立佐伯中学校長）</p> <p>鳥平二郎（廿日市市文化協会佐伯支部長）</p> <p>藤田 縁（P T A 会長）</p> <p>須藤 薫（比治山大学参事，元可部高校校長，元広島県教育委員会学校経営支援課総括指導主事）</p> <p>戸田浩暢（広島女学院大学教授）</p> <p>近藤哲生（佐伯高等学校校長）</p>		
会議の概要	<p>1 校長説明 経営方針に係る上半期取組を資料により説明</p> <p>2 担当分掌から中間評価について説明</p> <p>3 学校運営に係る協議 委員）地域交流を進める中で，一部生徒の中には文化祭を地域と合同で行うことに疑問の声が出ている。回を重ね，その意義が薄れてきているのではないか。高校生の活力は地域の発展のためにも不可欠であり，主体となって運営してもらいたいという思いもある。多くの観客の前で発表することが自信につながったということも聞く。その意義を生徒に伝えてほしい。 学校）地域で行うことの意義を，学校単独で行った場合のデメリットも含めて生徒に伝えていく。</p> <p>委員）中間評価について，C 評価となっているものがある。年度末までのところでは B 評価に位置づくものと思うが，目標値に幅を持たせることで評価しやすくなるのではないか。全体的によく取り組んでいると思う。 中学校では生徒・保護者・教職員にアンケートを行い，総括して満足度を取り入れている。高等学校ではどうか。 学校）保護者の評価を取り入れている。生徒と保護者の満足度を 85% 以上にするという評価指標・目標値を設定して取り組んでいきたい。</p> <p>委員）公開授業の実施の方法について，年 1 回は大きな授業研究を実施してはどうか。教科横断的に組み合わせるとおもしろい授業をしてみる。マンネリ化しないよう新たな刺激を取り入れてみる。生徒にどういった力をつけられるのか，そのために教員は何をしていくのか考えていく。 評価においても，実施によって何が得られたか生徒の力がどうついていったかを指標とし，授業改善につなげていくことが必要。 学校）他授業と並行で実施するのではなく，7 校時に全体で実施することも案としてある。授業においても，保護者の観点を取り入れる。いろいろな切口，工夫が大事。</p>		

	<p>委員) 中高で連携し，中学校の先生に来てもらう。佐伯高校の授業を知ってもらう機会としたらどうか。</p> <p>学校) 高校の授業においても小中の教材の提示方法などが参考になる。</p> <p>委員) 社会人（ピアニスト）講演などの体験をさせてはどうか。</p> <p>ウェブサイトアクセス数を表示して関心度の指標としてはどうか。</p> <p>授業が習熟度別でわかれており，丁寧な指導をしてもらえる学習環境となっている。生徒が伸びていっており，就職先も安定している。</p> <p>学校の様子を伝える場が必要。広報誌でのPR，地域に出向いてオープンスクールするなどして生徒募集につなげてはどうか。</p> <p>PTAとしてもPTA活動としてもPRしていく。</p> <p>中学校でPRの機会をもたせてもらい募集につなげてはどうか。</p> <p>学校) PRについては，実際に生徒の想いを伝えるのが一番効果的。近隣中学には訪問してPRを行っていく。</p>
<p>次回開催予定日</p>	<p>未定</p>